

報道関係各位

2018年6月18日  
福岡みらい病院  
九州産業大学

## 包括的連携に関する協定書の締結について

九州産業大学と福岡みらい病院は、地域の発展と人材の育成に寄与するため、教育・研究・地域貢献の各分野において連携・協力することに合意し、本日協定書を締結しました。

この協定に基づき福岡みらい病院は、九州産業大学が今年4月に開設した人間科学部スポーツ健康科学科の「機能解剖学」「スポーツ医学演習」などの授業にリハビリテーション科や整形外科の医師を講師として派遣するとともに、「健康運動指導士」資格に必要な医療機関での実習の場を提供します。

また、両者は運動スポーツデータの収集・解析および共同研究、医療関連商品の共同品開発などの広範な分野において、具体的な連携事業の検討を進めます。

2016年に東区アイランドシティに開設された福岡みらい病院は、整形外科、リハビリテーション科を中心に、内科、循環器内科、神経内科、脳神経外科、外科、リウマチ科、麻酔科を標榜する418床の（多機能型）病院であり、3Dプリンターを駆使した人工関節手術やロボットリハビリテーションシステムの導入、反復経頭蓋磁気刺激療法、DBS（脳深部刺激療法）手術などの先端医療を実践しています。

また九州産業大学は人間科学部スポーツ健康科学科において、経営視点でスポーツを分析し、産業界の現場でマネジメントできる人材、スポーツを通じて地域の豊かなコミュニティ形成に貢献できる人材の育成を目指しています。

このたびの連携協定は、両者の知識や設備を相互利用することによって、地域のスポーツ健康分野における人材の育成と、健康増進・機能回復などの新たな研究の推進を目指すものです。

以上